

令和5年度 第3回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月26日（木） 午後2時25分から午後4時15分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、石川隆久、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、石田潤司、小田木真砂子、藤田嘉代
- 4 欠席委員 伊勢聖、木俣契一
- 5 学校 齊藤昌長（校長）、内山忠久（教頭）、古橋孝文（主幹教諭）、朝比奈愛子（CS担当職員）、水津健太郎（1学年主任）、小川怜志（2学年主任）、岩崎美日（3学年主任）、竹田達明（4学年主任）、森山美和子（5学年主任）、佐久間莉紗（6学年教諭）、内山尚子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
- 7 傍聴人 1人
- 8 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）
- 9 議長の選出

前回運営協議会後に議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り
- (2) 本校の課題について
- (3) 学校支援活動（気賀っ子応援団）の活動について
- (4) 次年度の教育課程編制へ向けて
- (5) 学校職員とのグループ協議

11 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り

議長の指示により、小田木委員、藤田委員から、別紙資料に基づき以下の報告があった。

- ・ ボランティアの方が何度も来てくださるうちに、活動内容を理解し積極的に動いていただけなので実習がスムーズに進むようになった。また、ボランティアの方々和孩子たちの距離が近づき、困っているときに自分から助けを求められるようになった。一方、ボランティアの方に甘えすぎたり、接し方や言葉遣いが馴れ馴れしくなったりして礼儀に欠ける子供がいる。（小田木委員）
- ・ 担任からボランティアの方に対する礼儀や接し方を指導し、声を掛けていくようにしたいと思っている。（齊藤校長）

(2) 本校の課題について

議長の指示により、古橋主幹から、別紙資料に基づき本校の課題について以下の説明があった。

- ・ 令和5年度全国学力調査の結果は、気賀小は全国や静岡県の平均を上回っている。しかし、選択式よりも記述式の回答ができていないことがわかり、今後、子供たちに自分の考えを伝える力、表現力を身につけてもらいたい。
- ・ 児童質問紙に関して、課題となっているところも多いが、気賀小の子供たちの頑張っているところ、いいところを伸ばしていけるようにしていきたい。

(3) 学校支援活動（気賀っ子応援団）の活動について

議長の指示により、学校支援コーディネーターの小田木委員より、園芸部（園芸グループ）立ち上げについての説明があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 園芸部（園芸グループ）に学校の花壇を自由に管理していてもらいたい。最初は近所の方でスタートしたいと思っている。（小田木委員）
- ・ CSボランティアは学校の要望に沿ってやってもらうものだと思うので、園芸部（園芸グループ）に全部お任せではなく、学校が計画（プラン）を出した上で依頼するやり方が良いのでは。子供を巻き込んで一緒に経験していくことで、ボランティアの方に対する感謝の気持ちももてると思う。（山田委員）
- ・ 日中、教室に入れないうちの子供たちが一緒に活動できると良いのでは。（小田木委員）
- ・ ボランティアの方の中からリーダーを決めるのは難しいと思う。（宮崎会長）
- ・ ボランティアの中からリーダー（代表）を決めて、学校とは定期的に打ち合わせをして進めていけたら良い。リーダーを決めておくと地域の集まりの時などに連絡を取り合ってもらえる。（小田木委員）
- ・ ボランティアの方がやり過ぎてしまうことが心配。（長谷川委員）
- ・ 子供の行き届いていないところに声を掛けてもらえるとありがたい。（小田木委員）

(4) 次年度の教育課程編制へ向けて

議長の指示により、齊藤校長より、別紙資料「2024 Kiga Plan」に基づき説明があった。

- ・ 150周年をきっかけに、「自分たちの学校をつくる」ということを意識して、職員・児童・保護者・地域と共有し、新しい気賀小をつくっていききたい。
- ・ CSの活動が充実してきている中で、人間関係を学校の外でも築けたら良いと思う。

(5) 学校職員とのグループ協議

低学年グループ

〔水津（1学年主任）、小川（2学年主任）、田力委員、石川委員、藤田委員〕

- ・ 言われれば素直に動くが、もっと自主性を育みたい。
- ・ 縦割り活動をもっと多く取り入れて、異学年で共働する学びがあると良い。

中学年グループ

〔岩崎（3学年主任）、竹田（4学年主任）、石田委員、長谷川委員、小田木委員〕

- ・ 知っている人への挨拶はできるが地域ではできていないので指導していききたい。
- ・ 自転車の乗り方、横断歩道の渡り方が悪いため、マナーや安全への意識を徹底したい。

高学年グループ

〔森山（5学年主任）、佐久間（6学年教諭）、宮崎会長、山田委員〕

- ・ 新しく作ること、考えを伝えることが苦手な子が多いと思うが、低学年の頃から工夫を積み重ねていくと良い。
- ・ 縦割り活動で、集団での学びやみんなでやることのよさを大切にしていきたい。

その他連絡事項等

- ・ 学校運営協議会の自己評価を御記入の上、第4回学校運営協議会時に持参していただくよう依頼した。
- ・ 次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。
- ・ 次回会議は、令和6年2月2日（金）午後1時00分から第1会議室で開催する旨の連絡があった。